

# 小田原市高齢者実態調査及び介護保険利用者等調査業務委託仕様書

## 1 業務名

小田原市高齢者実態調査及び介護保険利用者等調査業務

## 2 目的

平成29年度に予定している「第7期おだわら高齢者福祉介護計画」の策定に向けて、高齢者福祉及び介護保険事業の施策形成のための基礎資料とするため、高齢者の状況や意識等を調査する。

## 3 業務委託期間

契約締結日から平成29年3月31日までとする。

## 4 調査対象及び調査数

調査対象	調査数
小田原市内に居住する65歳以上の者で、介護保険の要介護認定で要介護に区分された者を除く。	7,500人 (12圏域)

※調査対象者は全て無作為抽出による。

※調査票の回収率は、おおむね70%とする。

## 5 業務内容

小田原市福祉健康部高齢介護課（以下、「市」という。）は、調査業務の一部事務を受託者に委託し、双方の協議のもとに業務を遂行する。事務の順序と分担はおおむね次のとおりとする。

	主に市が担う事務	主に受託者が担う事務
調査企画	①調査企画の総括 ②調査方針とテーマの設定	③集計、分析方針の作成 ④調査票の作成
調査実施	⑤調査対象者名簿の作成 ⑨調査票の回収・受託者への送付	⑥発送用封筒の作成 ⑦返信用封筒の作成 ⑧調査票の封入封緘及び発送
結果報告	⑫分析結果の確認	⑩調査データの入力 ⑪調査データの集計、結果の分析 ⑬調査報告書の作成 ⑭調査票の返却

### (1) 調査票の作成、印刷（④関係）

調査票は、国が示す日常生活圏域ニーズ調査項目を基本に、市独自の調査項目を加え、全体で70項目程度とする。

調査票の体裁は、A4判両面、1色刷り、16ページ程度とし、容易にページが分離しないよう綴じを施す。

**(2) 配付用及び返信用封筒の作成 (⑤、⑥、⑦関係)**

調査票の配付用及び返信用の封筒を作成すること。

配付用の封筒には、市が提供する調査対象者名簿(CSV形式データ)を基に、宛名を印字すること。

返信用の封筒には、のり付きで内容物が透けて見えない紙質のものを使用し、表面に返信先(市)と料金受取人払いであることを表示すること。

**(3) 調査票の封入封緘及び発送 (⑧関係)**

配付用封筒に調査票と返信用封筒を封入封緘する。発送に係る郵便料金は、受託者が負担するものとし、郵便料金の総額が最も安価となる発送方法を選択し、必要な表示を配付用封筒に施す。

**(4) 調査票の回収、受託者への送付 (⑨、⑩関係)**

市は、別に定める日までに回収した調査票を受託者に送付し、その経費を負担する。

受託者は、返信用封筒の郵便料金の受取人払いに係る申請及び清算事務を行い、郵便料金を負担する。

受託者は、成果品である調査報告書の納品と同時に、調査票を市に返却し、その経費を負担する。

**(5) 調査データの入力 (⑩関係)**

回答済調査票のデータを入力し、国が示す地域包括ケア「見える化システム」へ登録ができる状態にデータを加工し、CD-ROMに保存して、市に納品すること。

**(6) 調査データの集計、結果の分析 (⑪関係)**

入力した調査データを集計し、調査結果について多面的な視点から分析できるよう、設問ごとにグラフや表、クロス集計表等を作成すること。

12の日常生活圏域ごとの高齢者の課題、圏域の特徴が把握できるよう比較、分析を行い、課題解決に向けた方策や今後の事業展開等について提案すること。

**(7) 調査報告書の作成 (⑬関係)**

調査報告書を50部作成するとともに、その版下(Microsoft Officeドキュメント形式、A4判、モノクロ)のデータをCD-ROMに保存して、市に納品すること。

調査報告書の体裁は、A4判、150頁程度、表紙は色上質カラー最厚口1色刷り、本文は上質再生紙1色刷り、背表紙は背文字あり、製本はくるみ綴じ製本とする。

調査報告書の内容は、調査の趣旨や回答者の属性、調査結果の概要・総括、分析結果、日常生活圏域ごとの地域特性・課題、課題解決に向けた方策や今後の事業展開等の提案、調査票等とする。

以上